

江南古鎮に関する SNS 上の投稿の言語表現からみた新場古鎮のイメージの特性

Characteristics of Xin Chang Ancient Town's Image

from Linguistic Expressions in Texts on Social Media about Jiangnan Ancient Towns

奥山研究室 23M50630 張 淳 (Zhang Chun)

1. 序

1-1. 研究の背景と目的

長江（揚子江）流域に点在する「江南古鎮」は、中国の伝統的な水郷町の代表的存在として位置づけられている。1980年代以降、その文化や自然環境を活かした観光開発が進み、画一的な開発方針のもとで発展を遂げてきた。なかでも地理的に独立し、開発が遅れた新場古鎮は、海に接することから歴史的に製塩業の町として栄え、現代でも伝統的な生活様式を色濃く残す古鎮である。近年、これらの古鎮に関する観光情報の共有が SNS 上で盛んに行われ、特に「小紅書」では、ユーザーによる観光客の実体験に基づいた文章が動画や写真とともに投稿されており、そこには、古鎮ごとの空間や観光体験の特徴などがうかがえる。

そこで本研究では、新場古鎮を含む 11 の江南古鎮に対する、「小紅書」上の投稿における言語表現から、構成要素および価値属性を検討、比較することで、新場古鎮のイメージの特性の一端を明らかにすることを目的とする。

1-2. 研究対象と対象資料

地理的・歴史的な独自性を持ち、ユネスコ世界文化遺産暫定リストに登録されている太湖流域の西塘 (XiTáng)、錦溪 (JinXi)、烏鎮 (WūZhèn)、甬直 (LùZhí)、周荘 (ZhōuZhūāng)、同里 (TóngLi)、震沢 (ZhènZé)、沙溪 (ShāXi)、恵山 (HuìShān)、黎里 (LǐLǐ) および沿海地域に位置する新場 (XīnChǎng) の 11 の江南古鎮を対象とした (図 1)。本研究では、2019 年 1 月から 2024 年 9 月の間に小紅書に投稿された 1497 件の投稿のうち、観光客の実体験に基づいた文章や動画がみられた 839 件を分析対象とした¹⁾。さらに、投稿の内容を意味段落で分割して資料単位とし、集計したものを表 1 に示す。

2. 言語表現にみる江南古鎮の構成要素

本章では図 2 の分析例のように、観光客の投稿した文章内容から観光地としての古鎮がもつ価値とその構成要素および水郷町としての特性（以下、水要素）との関連を検討した (図 3)。

2-1. 構成要素の分類

構成要素は、建造物や自然景



図 1. 古鎮の地理的情報

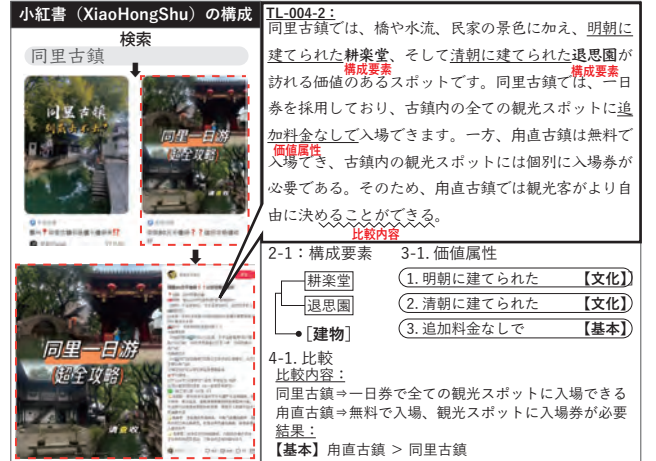


図 2. 分析例

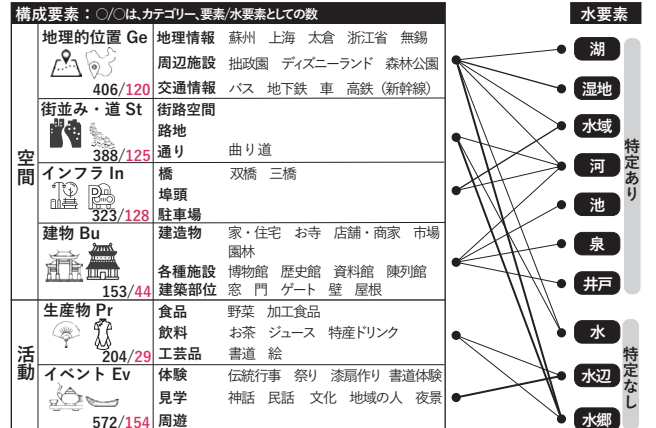


図 3. 構成要素と水要素との関連

表 2. 価値属性の分類 (表注:括弧内は否定的な単位数を示す)

価値属性の分類	説明と代表例
基本価値 648(61)	アクセスの良さや、店舗の充実などの機能性を示すもの。 例: ... 初乗り運賃で到着できます... (新場) ... 三黄鶏のコスパが非常にいいです... (新場)
感覚 Fe	視覚、聴覚、味覚などの身体感覚および体験を通じた感情の機微を表現するもの。
付加価値 649(59)	例: ... 日常を忘れて心がリフレッシュされた... (烏鎮)
文化 Cu	固有の歴史・歴史的な行まいや文化を示すもの。 例: ... 建築様式がそのまま残してる... (同里)
交流 Co	地元住民や他の観光客との関係性や交流を通じたもの。 例: ... スタッフが観光スポットを教えてくれて助かった... (烏鎮)

観に関する【空間】と、人々の活動に関する【活動】に大別した。さらに【空間】は地理情報や周辺施設との関係性に言及する[地理的位置]、街区の配置や道路などに関する[街並み・道]、古鎮内の橋や埠頭といった[インフラ]、建物や施設、建築部位などの[建物]から捉えた。【活動】は、飲食物や工芸品、特産品などの物的要素に関する[生産物]、祭りやパフォーマンスなど、見学や体験型の活動に関する[イベント]として分類した(図3)。

2-2. 水要素との関連 前節で検討した構成要素には、水要素との関連がみられるものが多く存在したため、「太湖」や「二泉」など具体的な地域や施設を指す水要素を〔特定あり〕、水郷街としての特性一般を指すものを〔特定なし〕として分類し、図3右側に併せて示した。

3. 言語表現にみる江南古鎮の価値属性

3-1. 価値属性の分類 資料からは「新場古鎮の街で活気を感じられる」のように、古鎮の構成要素に対する評価を読み取ることができる。そこで、これを価値属性として検討した《基本価値》と《付加価値》に分類することができた(表3)。《基本価値》は、観光地の利便性、安全性、料金の妥当性など、観光における快適性に関する価値である。一方《付加価値》は、観光地として

の独自の魅力や特別な体験を示す価値に言及するものであり、場所の雰囲気などの主観的な感情や味覚や嗅覚といった五感に基づく〈感覚〉、地域の建物の歴史や文化活動の魅力に関する〈文化〉、観光客同士の交流や地域コミュニティとのつながりに言及する〈交流〉の3つで捉えた。

3-2. 構成要素と価値属性の関係 前節で捉えた付加価値と前章で整理した構成要素の組合せを古鎮ごとに検討したものを図4に示す²⁾。【空間】および【活動】それぞれにおける〈感覚〉〈文化〉〈交流〉の比率から、活動・感覚型、複合型、空間・文化型、空間・感覚型の4つのタイプを位置づけた。

活動・感覚型は【活動】と〈感覚〉の比率が高いものであり、新場のみが該当した。特に【活動】で[生産物]が占める割合が比較的高く、地元の住民が経営する飲食店が地場の食べ物を販売し、「本場の味」や地元の文化といった体験的、感覚的な価値が際立っていると見える。【空間】と【活動】の比率が同程度みられる複合型では、周荘と恵山で付加価値の〈感覚〉と〈文化〉も同数程度みられた一方、烏鎮と黎里では〈感覚〉の比率が高くみられ、「まるでタイムスリップしたようだ」といったよ

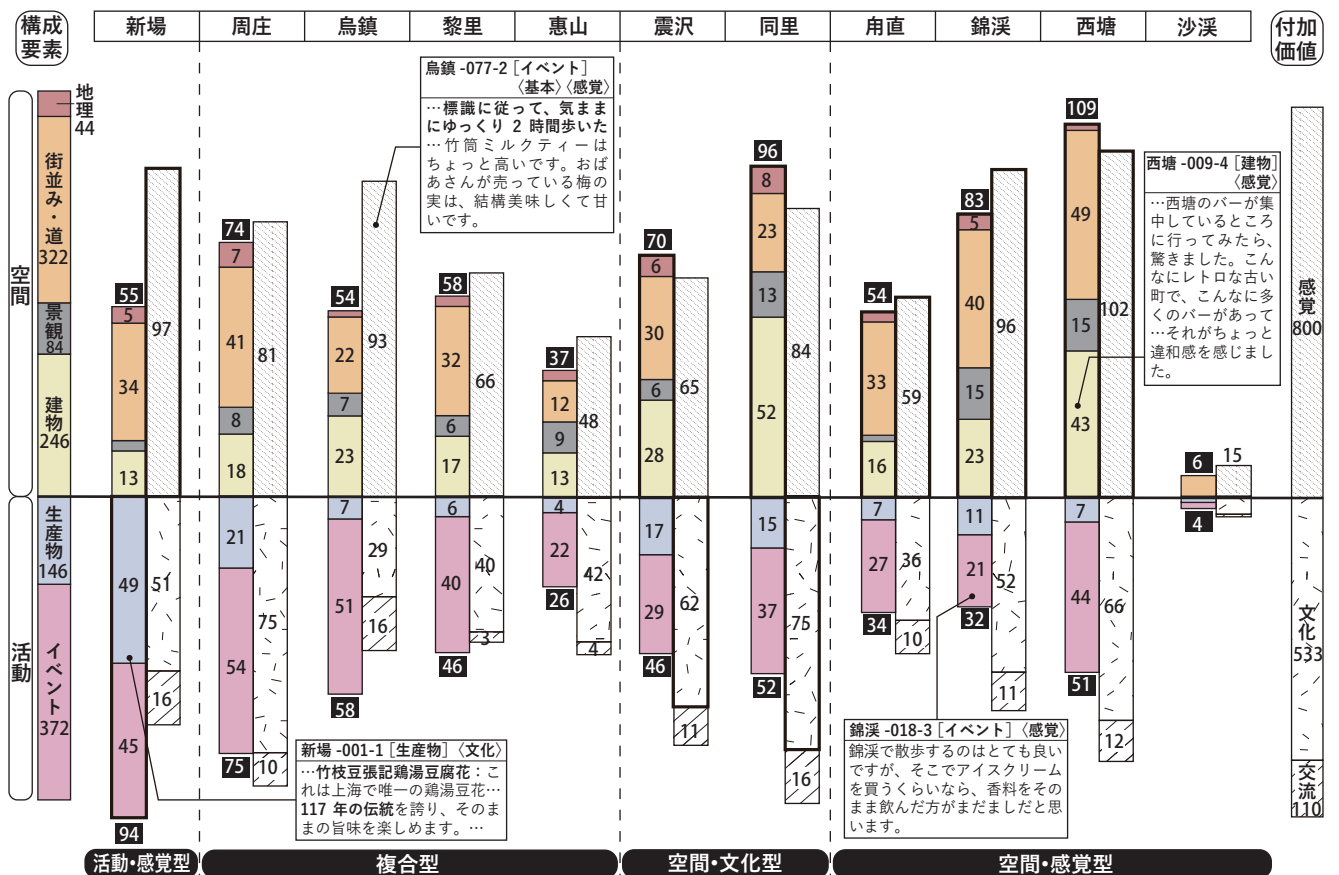


図4. 構成要素と付加価値の組み合わせ(沙溪古鎮に関する投稿数が極めて少なく、統計的な分析が困難であるため、比較対象から除外した。)

うに歴史的な雰囲気強調されている。空間・文化型は、【空間】の比率が多く、また相対的に〈文化〉の比率も高いものであり、例えば同里の世界遺産「退思園」など、地域固有の文化や歴史要素への言及が多くみられた。空間・感覚型は、【空間】と〈感覚〉の比率が高く、街の雰囲気や景観が観光価値の中心といえる。例えば西塘の「路地に飾られた赤い提灯」など独特な雰囲気の街並みが特徴として示されており、感覚的に空間の魅力を認識しているといえる。

4. 差異化表現 資料からは、例えば甬直が澄湖、万千湖、金鷄湖など11の水路が交わる地点であることの指摘など、古鎮の特徴を強調する差異化表現がみられたため、その内容を検討し、他の古鎮には見られない価値を示す{独自}、また他の古鎮との比較において質や規模を評価する{優位}、他の古鎮と共通した特徴を示す{類似}で捉えた(表3)。次に、これらの差異化表現と3章で検討した《付加価値》を併せて古鎮ごとに検討した(図5)。「独自」は明確な比較対象がなく、また《付加価値》が「中国一の古鎮」、「ここでしか食べられない」といった〈文化〉のみでみられたため、{独自}のみ括弧内に示した。さらに、前章で位置づけた4つのタイプについて差異化表現の割合と比較対象を併せて検討した(図6)。

活動・感覚型に該当する新場では「川風を感じながら、屋台の料理を楽しむと、時間がゆっくりと流れていくようで、とても心地よい」といった〈感覚〉で優位性が多く示され、また{類似}では〈文化〉が多くみられた一方、「鶏湯豆花」といった[生産物]で独自性が示されている。複合型の周荘や黎里では{優位}において〈感覚〉の比率が高くみられた。このことから、複合型では「騒がしい人の群れが続かず、静かで落ち着ける」といった体験での心理的側面が比較されやすいという特徴を捉えることができる。また、黎里は差異化表現が錦溪と同里に次いで多くみられ、他の古鎮と比較されやすいと同時に、他の古鎮を比較対象とする傾向が指摘できる。空間・文化型である同里と震沢では、{優位}の比率が高くみられた。特に同里は〈文化〉の{優位}が多くみられ、「退思園」などの蘇州園林といった歴史、文化的特徴で他の古鎮との差異を形成していると考えられる。空間・感覚型では、【空間】と〈感覚〉の比率が高いものの、差異化表現では〈文化〉を中心に優位性が示されやすいという傾向がみられた。この傾向は特に錦溪において〈文化〉で比べられることが多くみられた。比較対象として周荘

と烏鎮といった複合型の古鎮が多くあげられた。また、新場と恵山は差異化表現が少なく、古鎮の集中する蘇州近辺地域から離れているという、地理的状況の影響がうかがえる。

5. 動画からみる新場の特殊性 本章では、唯一活動・感覚型に該当し、さらに[生産物]の占める割合が高い点で独自である新場について、言語表現では捉えられない情報を直感的に伝えることのできる動画の投稿を資料に検討した。動画の撮影場所を特定し、撮映地点を基準にして一つのシーンを分析単位として、新場の観光地としての範囲や観光客が多く集まる場所を見出すため、地図上にプロットした(図7)。さらに、その場所を用途から分類し、年代順に動画で取り上げられた回数を分析することで、SNSにおいて注目された場所を図7の右下に示した。2021年から2022年にかけての投稿数は大幅に増加し、主に新場の中心部である洪福橋付近に集中していた。この時期の投稿では、新場に歴史的建造物である三世二品牌坊(大門)、第一楼茶園(建物)、洪福橋(橋)などに焦点が当てられることが多かった。2023年には新場が世界遺産申請暫定リストに加わり、観光開発が進んだことで、中心部には駐車場などのインフラ施設も新しい場所として多く取り上げられ、また飲食店、特に若者向けのカフェの増加も顕著である。地元の料理([生産品])や店舗([建物])に関連する場所が多く取り上げられ、これは前章で新場が活動・感覚型に分類されたことと傾向が一致している。さらに、地図からみると、新場は中心部から三世二品牌坊に向かって南へ発展している傾向がみられた。

6. 結 以上、小紅書で11の江南古鎮に関する投稿において、言語表現から構成要素、価値属性、差異化表現を検討し、動画から観光客が集中する場所を検討した。その結果、新場は体験・感覚的な価値が際立つ古鎮であり、特に地元の料理に関連する観光資源が多く取り上げられ、他の古鎮と比較しても新場の独自性が注目される傾向があることを見出した。また動画では歴史的な建造物や現代的な飲食店が頻出しつつ、これらの施設や歴史的な特徴が観光資源としてさらに開発される可能性が示唆されたことから、新場は他の江南古鎮との差異を読み取り、新場古鎮のイメージの特性を捉えることができた。

注

1) ここでは2024年9月の時点で確認できた小紅書での11の江南古鎮に関する投稿を資料としている。

2) 資料数が極端に少ない沙溪を除いて検討した。

表3. 差異化表現の分類

差異化表現説明と具体例	
独自	他の古鎮には見られない、特有の価値を持つ。 LZH-061-2: ...その豊かな歴史文化と独特な江南水郷の風情で知られ、「神州水郷第一の鎮」と称されている...
優位	他の古鎮と比べ、質や規模で優れている価値を持つ。 ZZH-089-3: 周荘の手漕ぎ船は6人まで乗船可能で...錦溪の遊覧船をおすすめします。...料金がよりお得です。
類似	他の古鎮と共通する特徴や価値を持つ。 ZZH-089-3: ...古鎮の街並みは、西塘や烏鎮と大差ない...

古鎮	優位 91			類似 39		
	感覚	文化	交流	感覚	文化	交流
錦溪(3)	25	5	7	9	3	2
同里(1)	19	6	5	5	1	2
黎里(1)	13	12	6	1	8	1
新場(6)	10	2	7	1	2	1
震沢(0)	7	6	6	1	1	1
周荘(11)	7	6	2	1	1	1
西塘(2)	5	1	1	2	1	1
烏鎮(1)	3	1	1	1	1	1
甬直(3)	1	4	1	2	1	1
惠山(1)						

注) {独自}は明確な比較対象がなく、付加価値が<文化>のみであるため、{独自}のみを括弧内に示した。

図5. 差異化表現の割合

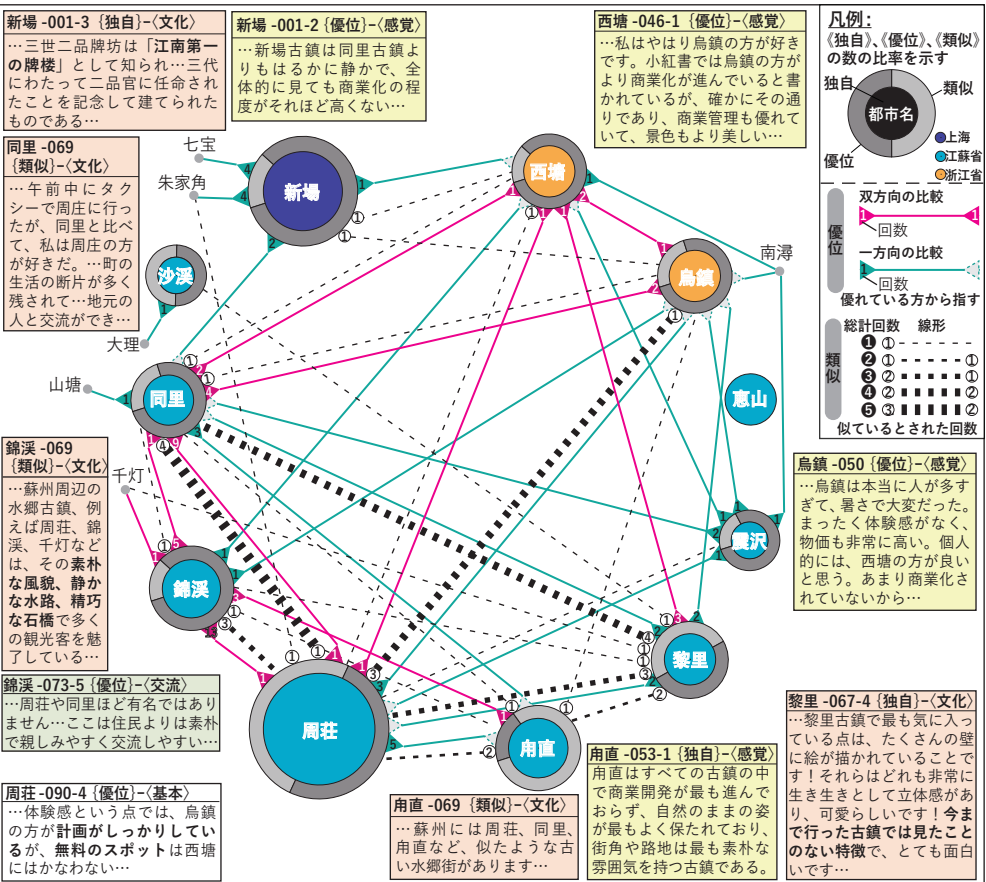


図6. 差異化表現の対象

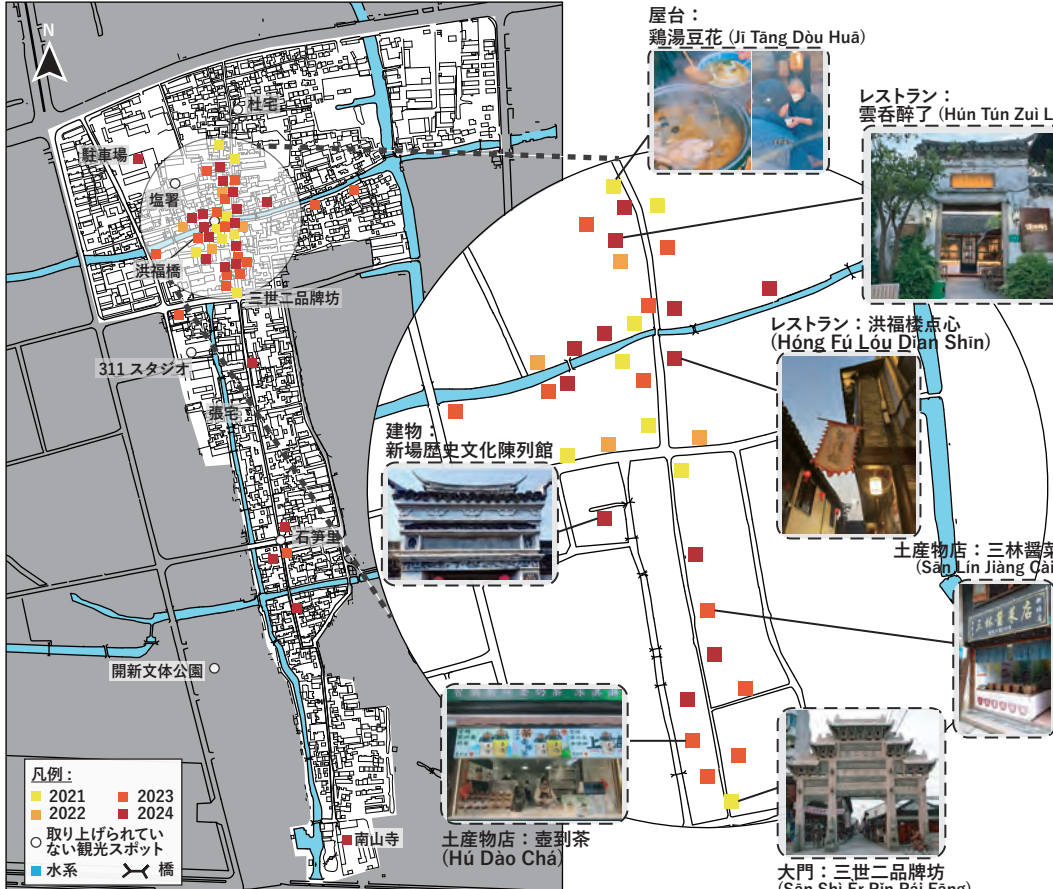


図7. 動画で見た開発の進展に伴う観光客の集中スポットの変遷

